



ご長寿お祝い訪問 (9月8日)



酒井市長、社会福祉協議会山崎義博副会長、市老人クラブ連合会清水義昭支部長が、上田久さん(102)を訪問し、長寿祝いの記念品などを手渡しました。上田さんは「両親が丈夫な体に産んでくれたおかげです」と長寿の秘訣を笑顔で話しました。

火災に備え、連携強化 (8月30日)



火災が発生すると延焼の危険が高い木造建築物が密集する下板井地区で、木造建築物密集地火災防ぎょ合同訓練が行われました。下板井自治会、篠山警察署、丹波篠山市消防団および消防本部が参加。それぞれの役割を確認し、連携を深めました。

河原町が美術館に (9月19～23日)



河原町通りに美術家や工芸家の作品が並び、まちなみアートフェスティバルが開催されました。篠山中学校美術部と南丹市立園部中学校美術部が、妻入商家群の町並みを題材に共同制作した学生アートも展示。15枚の絵を繋げて完成させた作品を披露しました。

ブータンから丹波篠山へ (9月30日)



JICA主催の獣害対策研修で、ブータンの農業行政関係者が矢代地区を訪れました。

電気柵や花火によるサルよけを視察したほか、放置果樹の伐採や栗収穫時に餌を残さないなど、住民が主体となって取り組む獣害対策について学びました。

小村さんがのど自慢で特別賞 (9月13日)

NHKのど自慢が田園交響ホールで行われ、小村杏奈さん(市西部給食センター栄養教諭)が特別賞に選ばれました。丹波篠山の魅力を全国に伝えたいという思いで舞台に立った小村さん。「日本一に輝いた丹波篠山の学校給食をPRできて満足」と話しました。



酒造安全祈願祭 (9月25日)



酒蔵での作業の安全やおいしい酒の醸造を祈願する、酒造安全祈願祭が行われました。酒の神を祭っている京都市の松尾大社から宮司を迎え、丹波杜氏など約40人が参加。今年の酒造りの無事と、「良い酒ができますように」と祈りをささげました。

栄光輝く

長年の功績や日々の努力を实らせ、栄光に輝いた皆さんをご紹介します

山本喜代治さん(川北新田) 行政相談委員



総務大臣から委嘱されるボランティアで、行政に関する疑問や困りごとの相談を受け、関係機関への橋渡しを行う「行政相談委員」。12年間にわたり活動してきた山本喜代治さんが、その功績をたたえられ、総務大臣表彰を受賞しました。

丹波篠山市には4人の委員が配置され、毎週金曜日に相談活動を行っています。相談内容は、行政に関するだけでなく、「どこに相談すればよいか分からない」「話を聞いてほしい」といった身近な困りごとまでさまざま。これまでは、隣家の危険木についての相談を担当部署につなぎ、伐採につながった事例もありました。相談の際に大切にしているのは「きいて、つなぐ」こと。『聞く、聴く、訊く』の3つの『きく』を意識し、単に話を聞くだけでなく、相手の身になって詳しく話を聞くことも心掛けています」と話します。今回の受賞を励みに、「任期まで、もう少し続けて頑張りたい」と、意気込みを話しました。

総務大臣表彰



まちの話題



旬到来！丹波篠山を彩る秋の味覚

秋の味覚が旬を迎え、市内でも丹波篠山黒枝豆や丹波栗、丹波マツタケなどの特産品の収穫や出荷が本格化しています。

遠方地区で164本の栗の木を栽培されている橋本豊彦さんの栗園(約50a)でも9月半ばから収穫が開始。栗園に落ちた「銀寄」や「筑波」などのイガ栗が次々と拾い上げられていきました。

9月28日には、丹波篠山市場でマツタケの初競りが行われました。この日は6本、計208gが競りにかかり、老舗旅館「近又」が落札されました。

10月8日には、口阪本のほ場で「丹波篠山黒枝豆販売解禁セレモニー」が行われました。地域の農家と一緒に黒大豆を育てている西紀南小学校3年生の皆さんも参加し、旬の到来を祝って解禁を宣言しました。





体長＝約4.5～5cm

ふるさとの貴重な動植物

ウスバキトンボ(トンボ科)

夏になると、羽を光らせながら水田や草原の上を群れ飛ぶウスバキトンボ。アキアカネなどが絶滅を危惧されている中、毎年、群れ飛ぶ優雅な姿を見せてくれます。

体は橙黄色で小さい黒斑があり、オスは成熟すると腹背部がやや赤化します。羽は薄く移動に適した形態で、体に比べ大きく透明ですが、後翅前縁はやや淡橙色を帯び、特に羽の付け根に橙色部があります。九州南部では春から出現しますが、本州では夏に多くなります。幼虫は本州中部以南の池沼で越冬し、春に羽化したものが次第に北上するものと考えられています。

丹波篠山自然塾・むしクラブ代表 大塚剛二さんの協力

まほうもまほうの122

「芸術文化は 体力勝負!？」



★詳しくは、30・31ページをご覧ください。

わが家のアイドル
を紹介します

わが家のアイドル
募集中です!
申し込みはこちらから

エサシカボテーリヨ鯉伴ちゃん
8カ月(打坂)

かわいくくりく
くせ毛ちゃん。

かとうまなみ ひなの
加藤真菜美・陽菜乃ちゃん
10カ月・4歳(乾新町)

いつもにこにこひなちゃんまなちゃん♡仲良く元気に大きくなってね!

まつしたあおい
松下蒼依ちゃん
1歳(網掛)

いつも元気いっぱいあおちゃん!
車にお歌にお外遊び、好きなものが
どんどん増えていってるね! 元気に
すくすく育ってね♡

IDOL in my family

山賊ワイルドラン (10月4日)



神戸学院大学の学生が主体となり、西紀地域で山賊ワイルドランを開催しました。これは全長約26kmのコースを間伐体験や農産物収穫体験を行いながら走る催しです。参加者は「過酷なレースだったが、丹波篠山を深く知れた。来年も参加したい」と語りました。

「はたまつり」で流鏝馬奉納 (10月3、4日)



佐佐婆神社(畑宮)で篠山三大祭りのひとつ「畑まつり」が行われ、山車やみこしが地区内を練り歩きました。本宮の4日には、流鏝馬神事が奉納。騎馬童男役を務めた城北畑小4年の山田葵翔さんが、五穀豊穡や無病息災と願いが書かれた的に矢を放ちました。

家庭で眠る「こいのぼり」寄付のお願い

問い合わせ 地域振興課 ☎552-5112

西紀北小学校周辺では、端午の節句の時期に多くのこいのぼりが大空を泳ぎます。これは、地元の若手有志グループが中心となり、地域の活性化と子どもたちの健やかな成長を願い、毎年開催されています。

このたび、市職員が公務中に自動車事故を起こし、

多くのこいのぼりが破損・汚損しました。深くお詫び申し上げます。

この大切な地域行事を途絶えさせないよう、こいのぼりの寄付を募ります。温かいご支援とご協力をお願いいたします。

募集するもの	家庭で使わなくなったこいのぼり(大小問わず) ※汚れや破れが少ないもの。
募集期間	令和9年3月26日(金)まで
受付場所	地域振興課または各支所



11/21(土) 9:00~15:00 ※雨天決行。 第25回ふるさと農業まつり @大手前南駐車場

農産物の展示や即売会、農業団体による出店など、丹波篠山の秋を満喫できます。大好評「山の芋のせり」も行われますので、ぜひご参加ください。



せりの様子

問い合わせ 農都政策課 ☎552-1114

11/1(日)~16(月) 第25回 丹波篠山市菊花展

旧篠山藩主青山忠良公が江戸幕府から拝領し、家臣に栽培させたと伝えられる180余年の歴史を持つ「お苗菊」。門外不出として丹波篠山でのみ愛育されてきました。

花の形や色の変化など、古典菊の清楚な姿をお楽しみください。

場所
篠山城跡三の丸広場

内容
お苗菊、大菊、盆栽菊、学校花壇など
多種多様な菊花の展示

問い合わせ 商工観光課 ☎552-6907